

鳥取県中部地域公共交通網形成計画（案）のパブリックコメントの実施結果について

交通政策課

1 パブリックコメントの実施方法

意見募集期間 平成 30 年 2 月 23 日（金）～同年 3 月 13 日（火）まで

周知方法等 ・ホームページへの掲載
 ・県庁県民課、各総合事務所地域振興局、日野振興局、東部・八頭庁舎及び県立図書館並びに市町村役場窓口等における概要チラシの配架

2 受付意見数

46 件（15 人）

3 主な意見及びその対応方針

意見	対応方針
H30.4 開館予定のフィギュアミュージアムと青山剛昌ふるさと館を結ぶ路線バスをつくってほしい。	事業 1-4「①観光地間をつなぐ路線・ダイヤの改善」の中に赤碕線、北条線等の一部ダイヤを「フィギュアミュージアム」「青山剛昌ふるさと館」を經由することについて追記しました。
倉吉バスセンター止めの関金線、倉吉駅止めの上井三朝線のバス路線を延長することにより河北地域へのバスの乗り入れを検討してはどうか。	事業 1-2「①河北地域へのバスの乗り入れ」において、関金線（関金～倉吉バスセンター）、上井三朝線（三徳山～倉吉駅）について、倉吉バスセンター及び倉吉駅から河北地域への延伸の検討を追記しました。
小学生から公共交通への愛着・関心を持てるよう車両・路線の愛称募集や、キャラクターづくりを行ってはどうか。	事業 3-4「①バスの乗り方教室・体験試乗会等の開催」において、路線愛称募集の検討及び「交通トリピー」等の活用について追記しました。
地域イベントの際には公共交通の利用を積極的に呼びかけるべき。	事業 1-4④「地域イベントとの連携」において、地元イベントに合わせ積極的に公共交通に関する情報提供を行うことを追記しました。
利用促進の PR を行う際にはターゲットを絞った（バス路線沿線の住民など）周知方法が有効ではないか。	事業 3-1 高校生のバス利用促進及び、事業 3-2 高齢者等のバス利用促進においてターゲットを絞った情報提供について追記しました。
公共交通への意識を高める意味でも、地元の大学等と連携した取り組みが有効ではないか。	事業 2-1 及び事業 6-1「住民等との協働による待合環境整備」にバス停の整備や環境整備に当たって、地元短大等と連携した取組を行うことを追記しました。